

第 2 回宇治市都市計画マスタープラン検討部会
及び委員からの事前意見について

第2回検討部会における主な意見		整理内容	資料番号
1	都市構造のレーダーチャートの指標について整理を	都市構造のレーダーチャートについて	都市構造の評価に関するハンドブックに基づき「宇治市の都市構造について」で整理
2	都市構造の現在の評価と将来の評価を一緒に比較すると誤解を招いてしまうので整理を		
3	レーダーチャートを用いて、今後、時系列的な吟味をし、それをマスタープランを点検するタイミングで都計審に出していくこともできるのでは		
4	地区別の社会サービス水準の違いが見えるように整理を		
5	人口の枠組みを議論するなら人口予測の将来の空間分布を示すこと	人口等について	人口、働く場、宇治市の魅力等についてを「宇治市の人口等について」で整理
6	社人研が現実的に起きそうだという事をベースに、宇治市が目標としている人口を実現するにはどんな施策を組み合わせるのか整理を		
7	20年先の人々の生活スタイル、まちのありかた等について議論していければよい	新たな視点	第2回の検討部会で頂いた新たな視点を整理
8	拠点・地区という単位のみならず、歩いて暮らせる範囲でのくらしに密着したさらに小さな単位を見ていくような提案ができればよい		
9	自然や歴史といった宇治市の魅力の価値を新しく発見して打ち出せるような提案ができればよい		
10	接道要件を満たしていないような最低限度の住環境が整っていない地域にも、何か別の生き残り方があるのでは		
11	大きな方向性に必要な項目の宇治市案を作成し各委員に事前に意見を頂いては	事前意見の聴取	

事前意見について		整理内容	資料番号
1	都市構造の図面の施設の配置について、2020年と2040年も同じになっているが、損益分岐点のような考え方があるように思う。人口がどれだけ減ったら、施設も減るといふような。	都市構造のレーダーチャートについて	都市構造の評価に関するハンドブックに基づき「宇治市の都市構造について」で整理 ※ 3については今後検討
2	20年後だから施設の位置も変わるかもしれない。位置が変わったら円も変わる。		
3	宇治市は高低差や川があり物理的距離が適正か(実際の施設までのルートなど)という話は大きな問題である		
4	密度が下がりそうなところは、施設が無くなる可能性がある。都市計画上どう施策が取れるのか。どういう方向性を示すのか。		
5	人口で全て決めるものではない。人口ビジョンは、希望的観測でしかない。そこに近づけるために何をしないといけないのか、どういふ施策につなげるのが重要である。	人口等について	人口、働く場、宇治市の魅力等についてを「宇治市の人口等について」で整理
6	宇治は自然もあって住みやすい。ゆったりした感じが良い。人々にとって良い環境とは何か。	宇治市の魅力	
7	自然景観の維持、環境、文化・歴史・うるおい・巨椋池。宇治には散歩できる場所がいっぱいある。		
8	コロナであるが、宇治に閉じ込められていると思う人は聞かない。地方都市の魅力が宇治にはあるのでは。		
9	20年先を見たときに、住むと働くのバランス、仕事の中身は宇治に合っているのか。新たに産業拠点にできる土地はほとんどないのでは。	新たな視点	事前意見で頂いた新たな視点について
10	様々な状況変化の中で、20年後にめざす宇治市の姿としてどのような姿を想定するのかを、議論した方がいいのでは		
11	どのような生活スタイルになじむまちづくりを行うのか、どのような働き場の創出を目指すか		
12	今後もますます世帯の多様化は進む、様々な世帯が住まえる広域拠点周辺の住環境の継続的な確保が重要では		